Nim開発メモ

目次

[第１章 Nimのインストール 2](#_Toc142938986)

[第１節 Choosenimのインストール 2](#_Toc142938987)

[第２章 VSCodeでNimの開発環境をつくる 3](#_Toc142938988)

[第１節 なぜVisual Studio Codeを用いるのか 3](#_Toc142938989)

[第２節 Visual Studio Codeのインストール 3](#_Toc142938990)

[第３節 Visual Studio Codeの日本語化 3](#_Toc142938991)

[第４節 Nim開発用拡張機能のインストール 4](#_Toc142938992)

[第５節 デバッガのインストール 4](#_Toc142938993)

[第３章 Nimプログラムをパッケージ化 5](#_Toc142938994)

# 汎用

変数およびプロシージャを外部から参照できるようにするにはスコープ（\*）をつける

## モジュール

### import側

type

型変数\* = int #型変数をimportされるモジュールに渡して戻り値の型を指定したりできるっぽい

import モジュールの親ディレクトリ/インポートされるモジュール名

proc main() =

var i = 呼び出したモジュール内のプロシージャ名(引数) #モジュール名を明示しなくとも呼び出せる

### export側

import インポートするモジュール名？

proc プロシージャ名\*(x: インポートするモジュール名？.T1): インポートするモジュール名？.T1 =

~~~処理内容~~~

result = x + 1

# VSCodeでNimの開発環境をつくる

この章では、Visual Studio Codeというコードエディター上でNim言語を用いた開発ができる環境の構築手順を解説します。

既にVisual Studio Codeを使っていて、不要な項目があるかもしれませんが、ご容赦ください。

## なぜVisual Studio Codeを用いるのか